

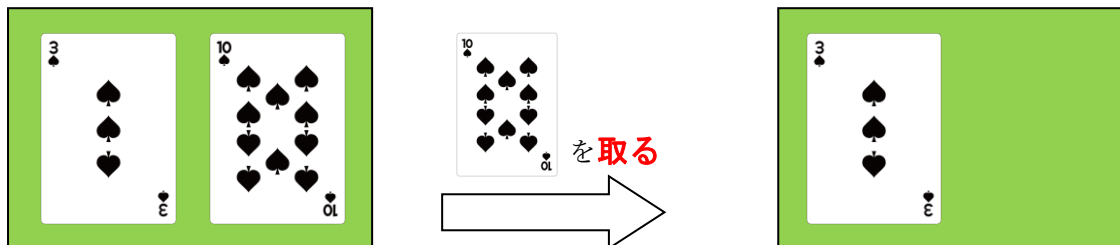
正負の数の計算の仕方(減法) 教科書 P22~P24

正負の数の減法の計算は、**加法に変換**して計算するだけです。

減法がなぜ、加法になるのか考えてみましょう

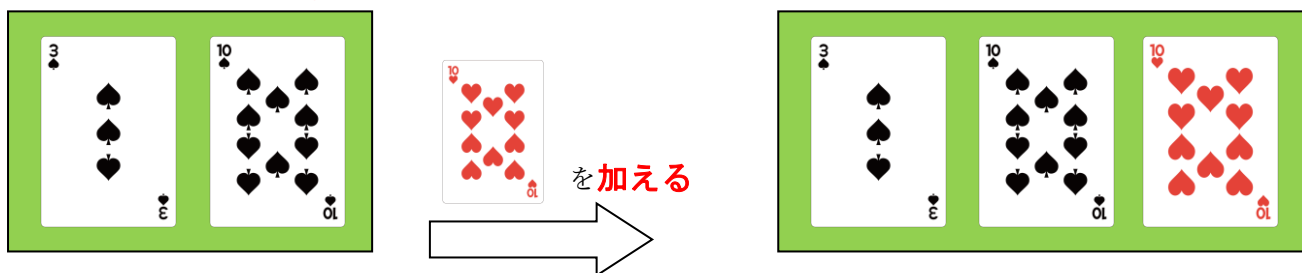
トランプを使った例 (黒は正の数、赤は負の数)

減法はトランプを**取る**ということになります。



$$(+13) - (+10) = +3$$

加法はトランプを**加える**ということになります



$$(+13) + (-10) = +3$$

つまり

$$(+13) - (+10) = (+13) + (-10)$$
 となる

計算方法は・・・

①減法から加法に変換

$$\begin{aligned}
 (+13) \ominus (+10) &= (+13) \oplus (\ominus 10) \\
 &= +(13 - 10) \\
 &= +3
 \end{aligned}$$

②反対の符号の数を加える